



知名町議会だより



— 知名町の児童・生徒の
学力向上へ決意を新たに —



平成27年度転入教職員宣誓式並びに教育行政説明会

平成27年度知名町転入教職員宣誓式並びに教育行政説明会が4月10日、中央公民館で開催され、新たに赴任してきた教職員22名が出席し、知名小学校の青山信男校長が代表して宣誓しました。

平成27年度 当初予算 総額81億5,480万円

平成27年度 一般会計当初予算

(単位：千円)

歳 入				歳 出					
款	科目名称	本年度	前年度	比較	款	科目名称	本年度	前年度	比較
1	町 税	457,995	467,488	▲9,493	1	議会費	101,678	93,214	8,464
12	分担金及び負担金	64,688	75,233	▲10,545	2	総務費	832,711	1,083,141	▲250,430
13	使用料及び手数料	115,062	116,004	▲942	3	民生費	1,284,997	1,029,086	255,911
16	財産収入	73,292	61,804	11,488	4	衛生費	429,382	448,024	▲18,642
17	寄付金	3,646	3,676	▲30	5	農林水産業費	596,374	650,331	▲53,957
18	繰入金	56,850	214,386	▲157,536	6	商工費	123,167	170,617	▲47,450
19	繰越金	20,000	20,000	0	7	土木費	276,087	437,010	▲160,923
20	諸収入	131,855	69,533	62,322	8	消防費	148,297	307,193	▲158,896
	◎自主財源計	923,388	1,028,124	▲104,736	9	教育費	957,800	873,105	84,695
2	地方譲与税	51,596	54,382	▲2,786	10	災害復旧費	186	204	▲18
3	利子割交付金	806	841	▲35	11	公債費	725,584	704,753	20,831
4	配当割交付金	1,136	486	650	12	諸支出金	5,237	6,322	▲1,085
5	株式等譲渡所得割交付金	1	1	0	13	予備費	10,000	10,000	0
6	地方消費税交付金	58,868	52,849	6,019					
7	自動車取得税交付金	6,949	8,896	▲1,947					
8	国庫提供施設等所在 市町村助成交付金	7,265	7,040	225					
9	地方特例交付金	461	353	108					
10	地方交付税	2,520,800	2,503,000	17,800					
11	交通安全対策特別交付金	955	987	▲32					
14	国庫支出金	491,038	667,047	▲176,009					
15	県支出金	342,939	427,694	▲84,755					
21	町 債	1,085,298	1,061,300	23,998					
	◎依存財源計	4,568,112	4,784,876	▲216,764					
	歳入合計	5,491,500	5,813,000	▲321,500		歳出合計	5,491,500	5,813,000	▲321,500

平成27年度 特別会計等の当初予算

(単位：千円)

区 分	本年度予算額	前年度予算額	比較
国民健康保険特別会計	1,235,382	1,047,192	188,190
介護保険特別会計	803,492	791,048	12,444
後期高齢者医療特別会計	80,821	79,531	1,290
奨学資金特別会計	21,707	18,687	3,020
国民宿舎特別会計	53,219	94,015	▲40,796
下水道事業特別会計	121,392	149,102	▲27,710
農業集落排水事業特別会計	130,858	173,270	▲42,412
合併処理浄化槽事業特別会計	23,279	25,072	▲1,793
土地改良事業換地清算特別会計	16,747	25,587	▲8,840
水道事業会計	176,405	199,935	▲23,530
合 計	2,663,302	2,603,439	59,863



より良い町政をめざして

一般質問



山崎賢治議員

地方創生の取り組みは。
町長 早い時期に策定する。

若者雇用対策は。

町長 Ⅱ国の2014年度補正予算で創設された「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を活用し、地域課題解決のため、人材育成事業として雇用創出のステップとなる講習会等を行う事業を先行して実施する予定。

本土からの「Uターン者」の雇用創出は。

町長 Ⅱ「地方版総合戦略」の中に「U・ターン者が住み続けたい魅力あるまちづくりを実現するため、企業誘致による新たな雇用の場を含めた雇用を創出する目標を盛り込むよう検討していく。

水土里サークル活動は。法律で規制される為、地域住民に負担が掛かるのでは。

町長 Ⅱ今後は多面的機能支払交付金として法律に基づく補助事業的な取扱いとなり安定的な制度となる。これまで同様の活動内容は全て継承されるので特別に住民負担が増えるものではない。

「農地維持支払交付金」と「資源向上支払交付金」の二つの支払の同時取り組みは。

町長 Ⅱ農地維持支払交付金では、農地、水路、農道等の基礎的保全活動や地域資源の適切な保全管理の為に推進活動に取り組むことになり、資源向上支払交付金では地域資源の質的向上を図る共同活動や多面的機能の増進を図る活動として、遊休農地の有効活用や農村文化の伝承活動、さらには施設の長寿命化のための活

動として施設の補修・更新などが可能であり、事業内容によっては同時取り組みも可能である。

広域組織での取組は。

町長 Ⅱ広域組織としての規模は、区域内の農用地面積が200ha以上を有する場合が対象となり、広域協定を行い事業に参加する集落又はその構成員に加えNPO、地域の関係団体等から構成する必要がある。

住吉暗川の環境整備は。

「水神記念碑」近くに説明板の設置は出来ないか。

町長 Ⅱ東條恒夫氏による判読文が町誌に記載されておりこれに基づき碑文の文字等を確認し、現代文での説明文での検討を進めていく。

暗川入口付近の「がけ崩れ防止対策」は。

町長 Ⅱ指定地については、字有地と民有地からなっており、安全確保のため関係者と連携しながら対策について検討を進める。

高倉の「カヤ」が葎き替えの時期では。

町長 Ⅱ葎き替えの時期であることは承知している。字と相談しながらカヤの植栽等について準備を進めていく。

9本柱の説明板の設置は。

町長 Ⅱ区長と設置場所について協議し、早急に準備を進めていく。



住吉暗川



松元道芳 議員 犬猫病院の開設は。

町長 県獣医師会や奄美動物病院へ働きかけていく。

ふるさと納税は。
①お礼はどんな品か。

町長 〓バレイシヨ、ユリの球根、ふるさと便（特産品）をお礼としてお返ししている。



ふるさと便（特産品）

ふるさと便（特産品）も十分な診察治療等が出るよう畜獣医師会や奄美動物病院に働きかけていく。

町長 〓現在、フローラルホテル宿泊優待券や桑茶等について検討している。

犬猫病院の開設は。

町長 〓昨年から年2回奄美市の獣医に出張診療して頂いているが滞在日数の調整が難しく、いろんな病気が去勢・避妊手術をこなす回数に限られているのが現状。

庁舎内にBGMを流したりどうか。

町長 〓町民が気軽に来庁しやすい環境作りについては、正面玄関横の花のプランターの設置や窓口職員の接遇研修を行い、日頃から町民の皆さんが気持ち良く来庁出来る環境の整備に努めている。音楽の効能により来庁された皆さんがリラックス出来る事は十分理解できるが役場に来庁される方は各種手続き、各種料金の支払い、専門的な問い合わせ、相談等いろいろな目的で来庁される。特に窓口の対応についてはきちんと町民の声を聞きしっかりと判断しないといけないことから周りの音などで対応に影響が出ない環境作りが肝要である。

フローラルホテル周辺をリゾート風には。
①メントマリ公園土手にヤシの木の植栽は。

町長 〓ヤシの木は高木になると強風などで倒木の恐れがあり法面崩壊も危惧される。

②海水プール・海水浴場は。

町長 〓ホテル周辺にはプールが整備出来る用地もなく、また、費用対効果も望めないと思う。

③桑茶スティックを客室にサービスは。

町長 〓ホテルの客室数は72室ある。現在市販されている桑茶を例にとすると、1箱60本入りで2700円、1本当たり45円になる。これを72室に1本入れた場合3240円になり経営上厳しいものと思われる。

④フロント入口に四季折々の島の花を飾ったら。

町長 〓ホテルを利用されるお客を花で迎えるため、平成25年度地域振興事業を活用し、ホテル入口の花壇を整備しユリなどの植栽を継続して行っており、癒しの空間造りを進めている。



フローラルホテル周辺



西田治利 議員

国民文化祭についての取り組みは。

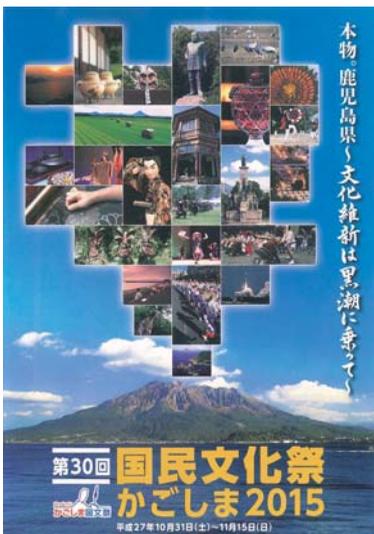
教育長
実行委員会を立ち上げて
様々な取り組みをしている。

国民文化祭についての
取り組みは。

教育長 平成25年9月に実行委員会を立ち上げ26年6月には企画委員会を編成して様々な取り組みをしている。

おきのえらぶ民謡、民舞の祭典とあるが。

教育長 11月1日に沖永良部島の姿や、島に伝わる伝統芸能の魅力を全国へ発信すると共に黒潮に乗って全



第30回 国民文化祭

国各地で育まれた民謡、民舞がこの島に集い、その輝きを時間を区切って2回公演を計画している。

島外からの出演依頼についてはどうなっているのか。

教育長 沖繩県など全国各地に交渉、出演依頼を進めているところで150名程度の見込み。

予算面については。

教育長 これから県とつめの交渉を行うところで、27年度当初予算決定後、本格的に動きまます。

全国から集う皆さんをもてなす歓迎レセプションの計画はないか。

教育長 企画委員と協議を進めながら前日にウエルカムイベントを計画して盛り上げる。

本町の湧水施設の保全については。

教育長 貴重な存在であり人々の集うコミュニティづくりの場所としても大切にされてきた。



湧水イシギョ川

として着実に浸透、定着してきていた。

今回の改正では。

町長 ①「地域包括ケアシステムの構築」

高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できる

ため介護、医療、生活支援、介護予防の充実。

②「費用負担の公平化」

低所得者の保険料の軽減を拡充と保険料上昇をできる限り抑えるため、所得や資産のある人の利用者負担の見直し。

課題と改善策については。

町長 保険料の引き上げがある。制度上個人負担ですので、

給付サービスのニーズが高まれば当然給付総額もふくれあがり、それを被保険者が負担する仕組みですので、保険料の上昇を抑えるには介護を必要としない予防事業が重要となる。

町内の湧水施設を調査して審査の上で有形民俗文化財に指定はできないか。

教育長 大切な湧水を保全し後世につなげていく為には地元住民による清掃や保全活動が大切であり、地域と町が連携を図りながら湧水の調査や観察を行い状況把握を進めていくことが重要である。

第6期介護保険制度改定について、見直される主な点はどのようなことなのか。課題や改善策があれば示してほしい。

町長 高齢化社会の進展に伴い施行後14年が経過し高齢者の地域での生活を支援し老後の安心を支える制度



平 秀徳 議員

大山の松食い虫対策は。

町長 被害拡大のスピードを遅らせ自然の広葉樹林化への手助け等に重点的に対応する。

大山の保全管理は。大山は、上下水道の生活環境整備や国営地下ダム建設による畑かん営農等水源涵養林として重要な機能を果たしている。最近大山、町内全域に松食い虫被害が多発しているが防除対策は。

町長 平成23年に新たに被害確認後「松くい虫伐倒駆除事業」で被害木全量伐倒・くん製処理をするも年々被害激増、全量駆除は労力的にも予算的にも不可能な状況。今後の重点対策として被害拡大のスピードを遅らせ、自然の広葉樹林化への手助け、人家・道路への被害を及ぼす恐れのある枯損木を優先伐倒除去していく。

森林の整備計画は。

町長 森林整備計画は5年ごと10年を1期として作成されており、知名町においても平成24年4月1日付けで作成されている。計画の内容としては、森林整備の現状と課題に対しての基本方針が示されており、水源涵養機能、山地災害防止機能、土壌保全機能、快適環境形成機能、保健・レクリエーション機能、文化機能、生物多様性保全機能等の発揮のための方向性が示されており多面的機能保全の維持に努めている。

緑と水を守る基金は。平成13年に基金条例が制定されているが、創設後の事業実績と今後の計画は。

町長 沖永良部の緑を守り貴重な水を保全・浄化する環境の再生、自然環境の保護を図り快適な生活環境の形成する為に設置され、基金造成後役員退職者や町民からの寄付により平成27年2月27日現在で残高2,521,886円となっている。事業実績については平成18年度に町制施行50周年に併せて行われた奄美群島植樹祭の地元負担として1,045,000円支出されている。今後の計画として大山の森林保全や環境整備について、補助事業で対応できない部分や緊急かつ重要案件対応に対し基金の活用を検討していく。

今後の基金公募活動は。

町長 募金については、これまで役場退職者を中心に町民の方々から頂いており、現在は基金造成に向けた特別な公募活動は行っておりませんでした。今後、町ホームページや広報等を活用、大山森林の大切さを活用して広く周知を図り賛同者を募っていく。

6次産業シマ桑茶の振興は。原料の安定供給及び生産拡大への取り組みは。

町長 現状として、栽培面積、生産量はほぼ計画通りの値で推移、安定的な原料確保が図られている。今年7月以降、当初計画からの目標としていた桑木の安定生産期に入るとあるうと思われる3年目に入ってくる。今年度の生産状況を最終的確認のうえで次の展開に沿った取り組みを行っていく。

町長 販売戦略として、これまで原料販売に重点を置き健康食品関連会社等への営業活動や取引業者への斡旋を狙いとした各沖洲への周知、各種商談会や物産展等を通じて販売促進活動を行っている。また昨年9月町独自開発の「シマ桑」商品を島内中心に販売開始しており、今後商品の優位性を訴えながら各種企業のニーズを発掘し、本島の販売を主力に需要を伸ばすことが重要。更に販売活動を強化、更なる販売拡大に力を注いでいく。



シマ桑茶パッケージ

販売戦略への取り組みは。

県道（下平川く内城線）道路改良は。上平川工区道路改良が平成22年5月26日に完了となったが、今後の延伸計画は。

町長 県道下平川く内城線の歩道整備は本年度で当初計画の500m区間の工事が完了。引き続き、上平川く赤嶺までの歩道整備について地元要望書を添え、鹿児島県沖永良部事務所に要望を行っている。



名間武忠議員

学校間の交流授業の実施はできないか。

教育長 委員会設置は検討、 交流授業は実施の方向。

学校適正化委員会(仮称)の設置及び新たに始まる土曜授業に学校間の交流授業の実施はできないか。

教育長 委員会設置は検討、交流授業は実施の方向。

少子化等により町内の児童・生徒は減少しており、今後も大幅な増加が見込めない現状においては、学校の適正規模や適正配置が重要な課題と考えている。そのような委員会を設置し幅広い立場から、学校の適正規模・配置に関して検討することは有意義なことと思う。教育委員会としては、幼稚園の子ども園への移行後に、教育・地域振興・福祉・財政等を含めた役場庁舎内での検討や意見集約をしたうえで、どのように進めて



住吉小・田皆小・上城小合同学習

いくべきかを判断したいと考えている。

土曜授業の交流授業については、現在、小規模校のデメリットをなくす取り組みのひとつとして、教育課程の中に、住吉小、田皆小、上城小を対象に3校での合同学習を学期2回程度取り入れるよう指導

を行っており、交流授業についても、土曜授業の主旨から実施可能であり、推進したいと思う。

本町の人口減少についてどのような考えなのか。婚活・結婚・保育・教育に対する官民での支援はできないか。

町長 国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、本町の2040年の総人口は5000人となっており、4948人となっている。さらに、政策提言機関の「日本創生会議」が昨年、独自の将来推計人口を基に「消滅可能性都市」を発表し、本町は消滅可能性が高い自治体とされている。本町において人口減少問題は大きな課題であり、早急に対策を講ずる必要がある。このことから、地方総合戦略の策定前に、地方人口ビジョンを策定し、人口の現状分析、町民との認識を共有し、今後、目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示する。婚活・結婚・保育・教育等の具体的な取り組みについては、地方版総合戦略の策定のなかで検討する。

若者の滞留対策としての施設増は図れないか。

町長 若者の雇用関係については、先の答弁の通り。

(山崎議員の質問)

市町村は、地方版総合戦略を定めるとしているが、策定期及びどのような内容を想定しているのか。

町長 地方版総合戦略は、まち・ひと・しごと創生法第10条に基づき、遅くとも27年度中に策定することが義務付けられており、庁内にプロジェクトチームを設置し、取り組みを加速させ、早い策定に努める。内容については、国、県の総合戦略を勘案したものである。

小米商店街の駐車場について商工会と連携して改善が図れないか。



小米商店街の駐車場

町長 小米駐車場は、地権者と市場通り管理組合の間で、土地賃貸借契約を平成11年9月に締結し、現在に至っている。契約条項に地権者の意向で現状変更の制限があることから、相談した結果、大筋で了解が得られたので、今後、具体的な詰めを行う。

知名小学校通学路の安全対策は。

教育長 正門に通ずる押しボタン信号機のボタン設置箇所の変更については、学校から危険箇所として改善要望があり、警察を含め関係機関で現場確認、「知名町通学路交通安全推進協議会」で協議、沖永良部警察署は、設置箇所及び設置個数について県警本部に協議、確認を行っているとのことであった。

小米部落内線の標識の位置変更は、警察署と確認を行っており、移設が可能か調整する。路線名の「部落」の変更については、十一年以上経過し地元でもその呼称が定着している。変更については、地元区長等の意見を参考にして決定する。



福井源乃介議員

葉たばこの振興方策は。

町長 経営の安定や産地体制の強化に努める。

低迷する葉たばこの振興方策はどうなっているのか。

町長 近年のたばこの喫煙や販売を巡る情勢は、依然として厳しい状況にある。また、平成24年度の廃作募集により耕作者数や耕作面積が半減し、当地での買い入れも平成27年度からは宮崎県の南九州リーフセンターへ統合されるなど、生産構造も大きく変化している。葉たばこ農家が意欲をもって生産に取り組み、産地の維持を図るため、「鹿児島県葉たばこ生産振興基本方針」に基づき、日本たばこ産業や耕作組合、関係機関・団体と一体となつて取り組み、農家経営の安定や産地体制の強化に努めていく。



J T たばこ取引所跡地

町長 日本たばこ産業株式会社では、施設の整理・縮小の施策の一環として、「沖小の施設たばこ取扱所」を廃止して本年の11月にJ T 不動産部に移管したとのことである。今後は不動産鑑定士による鑑定作業を経て、売却等を含め関係機関と調整することです。が、現時点では町への打診はない。

J T たばこ取引所跡地は老朽化した公共施設の建設予定地としても利用が可能と考えるが、町として取得する考えはないのか。

町長 組合からの要望書には、3月末までの文書での回答を要求されており現在、慎重に状況分析を進めている。回答期限までには当局の意見を申し上げる計画である。

本町の特産品開発・6次産業化を図るため、シマ桑の生産・加工・販売が行われているが、シマ桑生産組合から要望書が提出されている。話し合いで早期に解決を図らないのか。

町長 今後とも桑木の成長による単収向上や、毎年作付けする単年作物ではないので、総合的に考えた場合、労力面においても一方的な不利性はないのではとの試算も検証している。期日までに慎重かつ総合的に検討して回答したい。

現在、桑の生葉をキロあたり150円で買い取りをしているが、収穫等の人件費も出ない状況にある。このため組合としては、キロあたり300円を要求しているが、値上げする考えはあるのか。

町長 10月初旬の機械トラブルにより収穫が滞り収量減になっており、補償を求める声もあるがどう対処するのか。

町長 10月初旬の機械トラブルにより収穫が滞り収量減になっており、補償を求める声もあるがどう対処するのか。

販売拡大のため、飲料・食品・菓子・化粧品・健康食品・サプリメント・特に島内企業への売り込みは。また、土産物の開発計画はないのか。

町長 先行商品の売り上げも少しずつ伸びており、更なる普及・浸透を進めている。近日中少量タイプの商品も店頭に並ぶ価格面でもお手ごろ感があり、みやげ品として購買者の幅を広げる可能性について期待している。販促活動の充実・新商品開発に力を入れていく。



沖永良部・与論地区議会議員大会

(与論町開催)

2月4日第23回沖永良部・与論地区議会議員大会が与論町で開催され各地区から提出された次の3議題が採択され県知事に提出しました。

①「さとうきび増産基金事業の恒久化」について (知名町提出議題)

②「奄振交付金の充実・拡充」について (和泊町提出議題)

③「奄美群島貨物輸送コスト支援事業の実施」について(与論町提出議題)



議会の動き

12月

- 11日・平成4回議会定例会閉会
- 16日・平成26・27年期さとうきび搬入出発式
- 24日・沖永良部バス企業団議会定例会
- 沖永良部・与論地区広域事務組合議会定例会

1月

- 2日・金刀比羅宮新春祭
- 第40回町内一周駅伝大会
- 平成27年成人式
- 5日・年始の挨拶(島内官庁・各種団体)
- 6日・平成27年町消防出初め式(田皆中)
- 8日・年頭の挨拶(鹿児島県庁)
- 9日・国保運営協議会会長及び国保主管課長合同研修会(鹿児島市)
- 中央合同新消防車両配備祝賀会
- 11日・平成26年度町献血推進協議会
- 13日・フローラル株式会社上半期役員会
- 20日・正副議長研修会(奄美市)
- 23日・国営沖永良部地下ダム通水式・祝賀会
- 26日・奄美・やんばる広域圏交流推進協議会(沖繩県国頭村)27日まで
- 27日・沖繩奄美会との交流会(那覇市)
- 29日・鹿児島県町村議会議員研修会(鹿児島市)
- 沖永良部・与論地区議会議員大会事前協議(鹿児島市)

2月

- 4日・第23回沖永良部・与論地区議会議員大会・研修会・交流会(与論町)
- 11日・バレイシヨ出発式
- ・バレイシヨブランド20周年記念大会・祝賀会
- 13日・平成27・28年期春・株出推進決起大会
- 14日・南西航空音楽隊ファミリィコンサート
- 16日・上下水道運営協議会
- ・平成27年第1回国保・後期・介護保険運営協議会
- 17日・沖永良部・与論地区議会議員大会採択議題要望書を県へ提出(鹿児島市)
- ・鹿児島県町村議会議長会定期総会(鹿児島市)
- ・鹿児島県離島振興町村議会議長会(鹿児島市)
- 26日・市町村議会議長会(奄美市)
- ・市町村長・議会議長合同会(奄美市)
- ・奄美群島広域事務組合議会定例会(奄美市)
- 28日・第5回町子ども子育て会議

3月

- 1日・鳥唄・島ムニ大会
- 2日・沖永良部高等学校第65回卒業式
- ・27年度町奨学生推薦会
- ・新造船「フレイシキかい」初就航式
- ・町農業農村整備事業環境情報協議会
- 5日・第1回議会運営委員会
- 9日・平成26年度町コミュニティづくり推進協議会役員会
- 10日・第1回議会定例会開会

自治功労者表彰



今井吉男議長及び松元道芳議員が「町議会議員として15年以上在職され、鹿児島県町村議会議長から自治功労者表彰されました。」

編集後記

サトウキビの収穫や久しぶりの高値推移が続くバレイシヨの掘取り等農家にとつては最も多忙な時期に本町議会では本年第1回定例議会が開催され平成27年度当初予算を含め、すべての議案が可決成立致し、4月以降の新年度における予算執行が滞りなく早い時期に行われ町の活性化に貢献してほしいと考えます。又、本年は国が最も力を入れている政策の一つが地方創生であります。創生元年となるよう「まち、ひと、ことづくり」の推進に知恵を出し合い行政と一体となり取り組んで参ります。町民の皆様方からの積極的な提言もお寄せ下されば有難いです。

議会広報委員会 西田治利